

令和5年10月18日
中部地方整備局

貴社の見積もり、まるごと採用します ～「まるごと見積方式（試行）」の活用で事業を円滑に推進～

中部地方整備局管内の発注工事のうち、「横断歩道橋工事（新設）」については不調が多発しており、その要因が工事価格との乖離であることが、企業ヒアリング等から判明しています。

このため、直接工事費全額について、競争参加企業からの見積もりを採用する方式を導入（試行）し、事業を推進します。

- ポイント：① 適正範囲内の見積もり（工事費内訳書）により直接工事費を算定
② 土木工事積算基準書等により直接工事費に対する間接工事費等を算定
③ ①②の合計金額を工事価格として決定

配付資料：別紙（まるごと見積方式（試行）の実施手順）

試行工事：令和5年度 裾野地区橋梁鋼上部工事（令和5年11月14日公告予定）

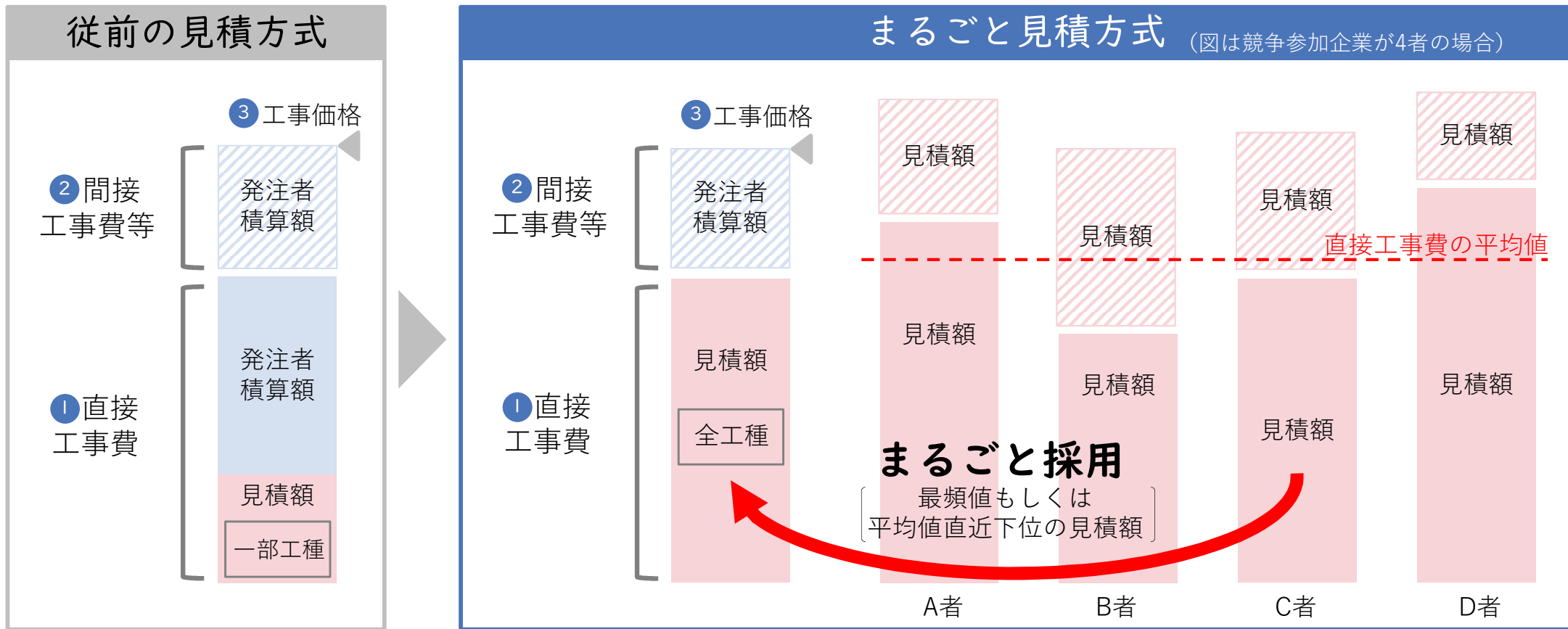
配布先：中部地方整備局記者クラブ、静岡県政記者クラブ

問合せ先：【制度に関する問合せ】 企画部 技術管理課 課長 小森和弘
TEL 052-953-8131

【工事内容に関する問合せ】 沼津河川国道事務所 副所長 中川晋吾
工務第二課長 蒲 雅志
TEL 055-934-2001

まるごと見積方式(試行)の実施手順

- ① 適正範囲内の見積もり（工事費内訳書）により直接工事費を算定
- ② 土木工事積算基準書等により直接工事費に対する間接工事費等を算定
- ③ ① + ② = 工事価格



- ① 材料費、労務費及び機械経費等の工事の施工に係る費用
- ② 運搬費、準備費、労務管理費及び従業員給与手当等に相当する費用